

(1) 本年度の研究重点目標 (案)

- 「粘り強く課題の解決に取り組む力」…自ら社会の課題を見つけ、多様な他者と協働しながら、主体的に課題解決に向けて取り組む力を育む。
- 「確かな知性」…学ぶ楽しさを実感し、学び続けるための確かな学力を育む。
- 「豊かな感性」…体験活動や道徳教育、多様な表現や鑑賞の活動等を通して、豊かな心や創造性を育む教育の充実を目指す。
- 「健やかな体」…教育活動全般を通じて、生涯にわたってたくましく生きるために必要な健康や体力の育成を目指す。

<三教研生活部 の研究テーマ>

<新学習指導要領の目標>

新たな価値を創出し、
生活の中に生かす子ども

～子どもの思いや願いの
実現をめざし、
学び続ける授業～

具体的な活動や体験を通して、身近な生活に関わる見方・考え方を生かし、自立し生活を豊かにしていくための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 活動や体験の過程において、自分自身、身近な人々、社会及び自然の特徴やよさ、それらの関わり等に気付くとともに、生活上必要な習慣や技術を身に付けるようにする。
- (2) 身近な人々、社会及び自然を自分との関わりで捉え、自分自身や自分の生活について考え、表現することができるようにする。
- (3) 身近な人々、社会及び自然に自ら働きかけ、意欲や自信をもって学んだり生活を豊かにしたりしようとする態度を養う。

研究主題

『新たな価値を創出し、生活の中に生かす子ども』

—子どもの思いや願いの実現をめざし、学び続ける授業—

— 研究の重点目標 —

- ◎ 子供の思いや願いを大切にした単元構成を工夫する。
- 学校や地域の特色を生かし、多様な人や社会・自然と繰り返し関わることができるような活動を組織する。
- ◎ 身近な生活に関わる見方・考え方を生かし、見付ける、比べる、たとえる、試す、見通す、工夫するなどの多様な学習活動を繰り返してできるようにする。
- 子供を見取り、積極的に対話をして、気付きを自覚化できるようにする。
- 友達や他の人と繰り返し関わる場を設定して、気付きを関連付けられるようにする。
- 思いや願いの実現を目指す過程で、気付いたことや楽しかったことなどについて、言葉、動作、絵、劇化などの多様な方法により表現し、考えることができるようにする。
- 思いや願いの実現を目指して学び続けることで、新たな価値を創出し、生活の中に生かそうとすることができるようにする。
- 活動を振り返り、自分や友達の成長を実感できるようにする。
- 幼児期教育や中学年以降の教育との円滑な接続を図る。
- ◎ 個別最適化学習の推進
- 誰一人として後ろに取り残さない教育の実現を目指す。
- チーム学習の授業実践とその課題の解決を図る。